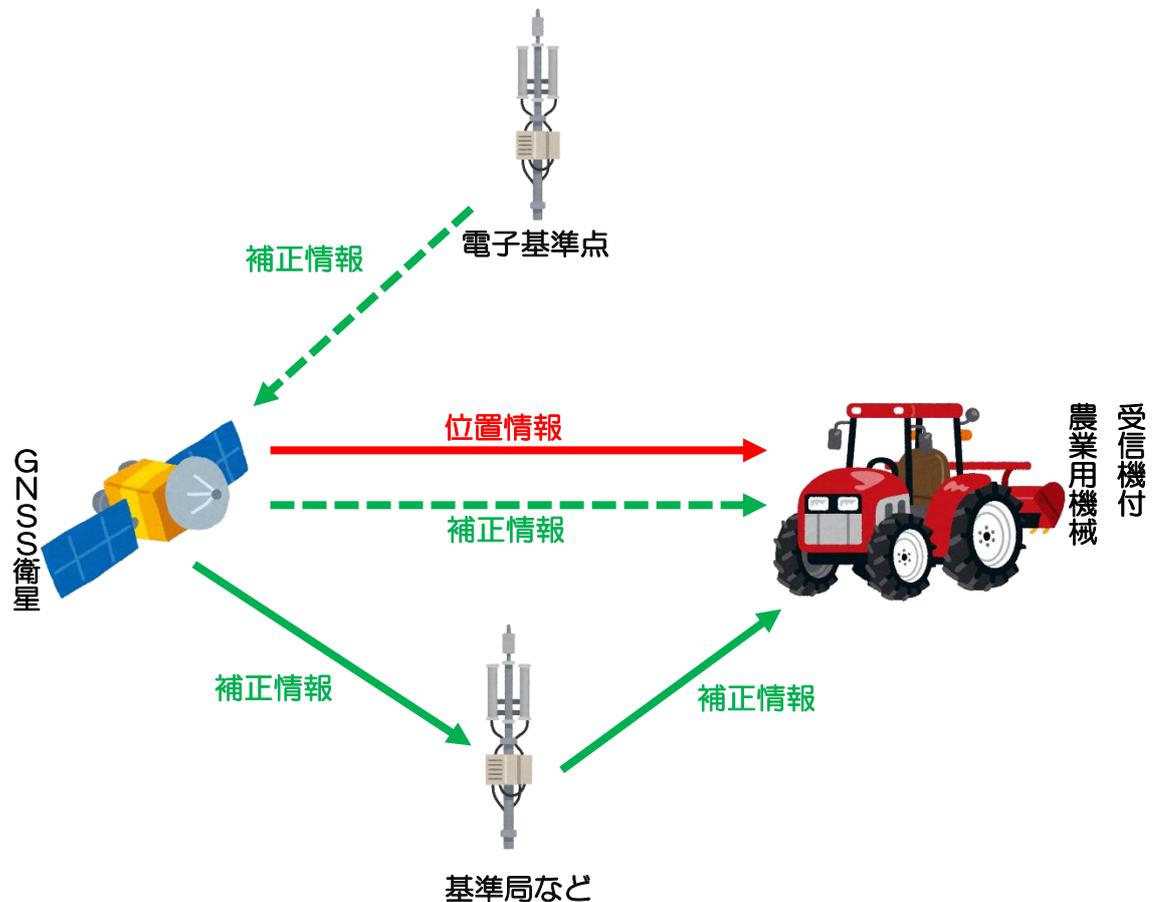


ガイダンスシステム

■ 概要

G N S S（衛星測位システム）から送信される信号を受信し、位置情報や補正情報を利用するシステム。基準局や国土地理院の設置する電子基準点を介した補正情報を利用することで、より精度の高い位置情報、補正情報を受信できる。農業トラクター等の自動操舵機器と合わせて導入されることが多い。



■ 期待できる効果

- ・ 自動操舵システム等の導入が可能になり、作業時間の短縮や作業量の軽減、作業箇所重複防止をはかれる。

■ 留意点

- ・ 自身の耕作形態によってアンテナや受信機を導入する必要がある。
- ・ 利用するサービスによって精度が異なるため、導入に際して検討が必要。

使用者の声

大田原市 岩城 義広 さん

水稻 15ha 、 二条大麦 14ha、
大豆 11畝 、 にんじん 20畝

〔導入システム〕 **補強システムCLAS** (マゼランシステムジャパン (株))
(三菱電機 (株))

岩城農場を営む岩城義広さんは、作業時間の短縮と企業からの委託を受けて同システムを導入した。

岩城さんが受信したCLASは、日本の衛星測位システム「みちびき」の観測した補正情報を受信し、GNSSの測位した情報の誤差を補正し、より高精度な測位情報を受信出来るものとなっている。

岩城さんは併せて、「AgriBus-NAVI」というアプリを使用。トラクターにタブレットを設置することで、作業履歴や圃場の管理機能を表示され、真っ直ぐ・等間隔な走行がアシストされる。これによって、播種や肥料散布の際の微小な誤差を確認しながら作業でき、作業むらの発生が防止できているという。



トラクターにタブレット (写真左) と受信機 (写真下) を設置し、画面を確認しながら作業をする。

